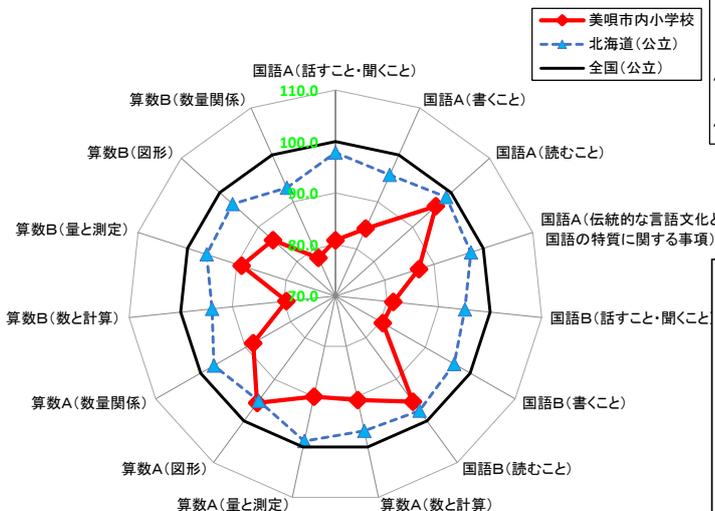


■美唄市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5、児童数:114名)

【教科全体の状況】

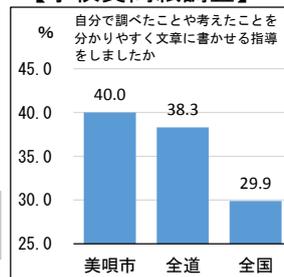
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



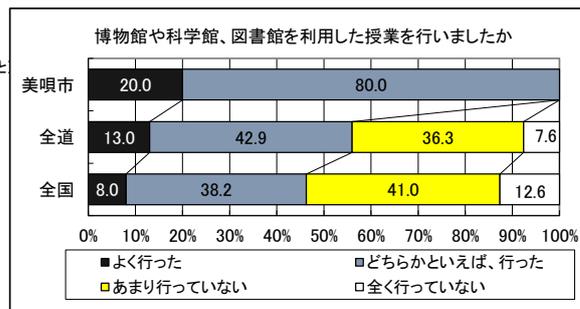
【平均正答率の全国との差の推移】



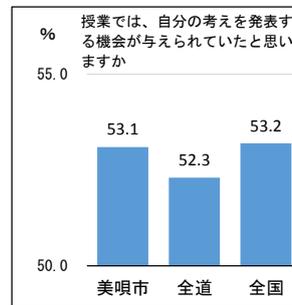
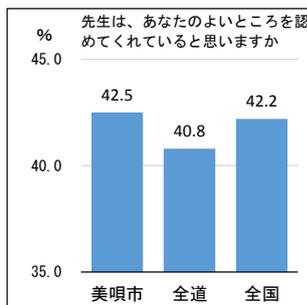
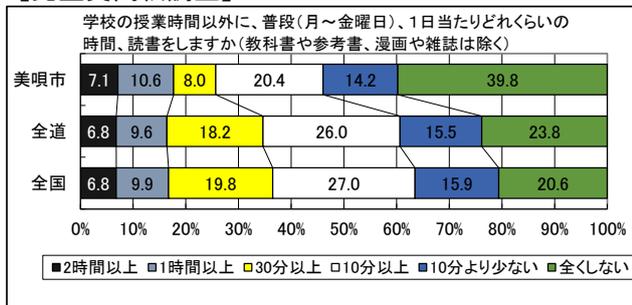
【学校質問紙調査】



※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「読むこと」で他領域と比べ、全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは「図形」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 博物館や科学館、図書館を利用した授業をよく行った結果、児童の読書時間が増え、国語Aの「読むこと」が他領域と比べて、全国に最も近くなったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」という質問に対して、「1時間以上」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率の推移については、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導を行った結果、国語Bで全国との差が縮まってきたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか」という質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 	

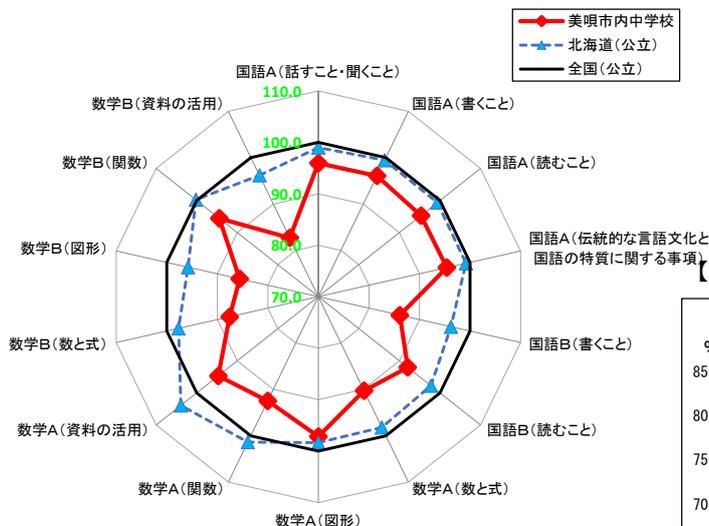
【美唄市の学力向上策】

- ◎ 学力向上を重点的に取り組む事項として、「確かな学力育成プラン」を作成
- ◎ 学力向上に向けて、習熟度別学習、複式授業学習支援員の配置、ICTの活用などを推進
- ◎ 家庭学習の手引を作成し、下位層の底上げに活用
- ◎ 管理職を対象に、アクティブ・ラーニングの研修会を開催予定

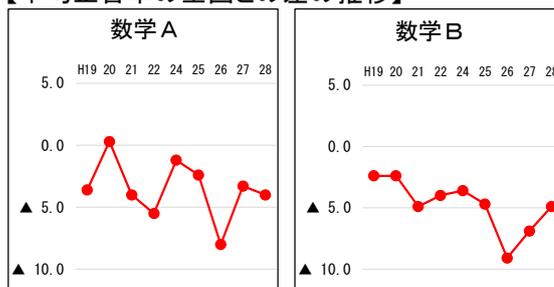
■美唄市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4、生徒数:150名)

【教科全体の状況】

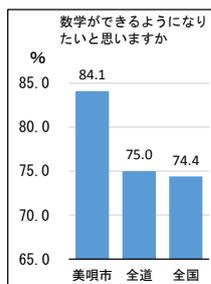
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



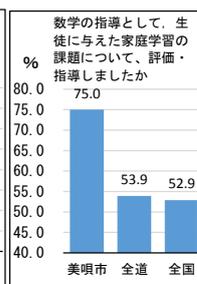
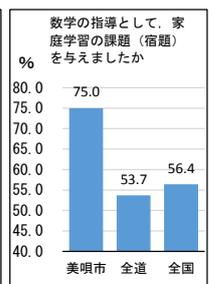
【平均正答率の全国との差の推移】



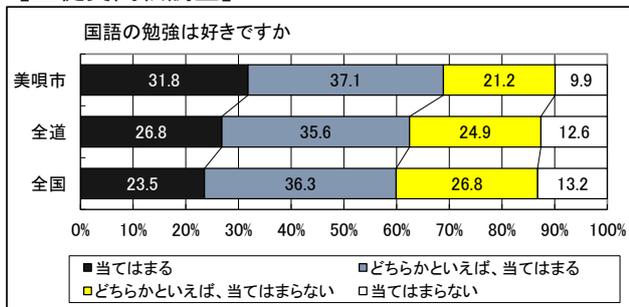
【生徒質問紙調査】



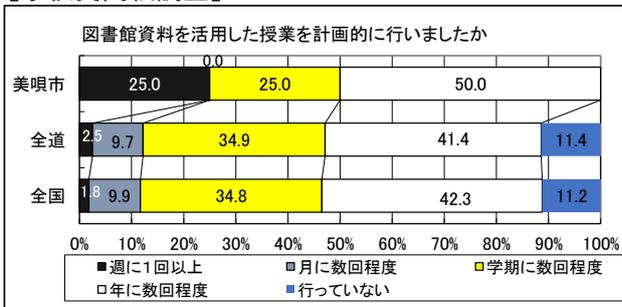
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「書くこと」で他領域に比べ、全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは「図形」で他領域に比べ、全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館資料を活用した授業を計画的に行った結果、国語の勉強が好きな生徒が増え、国語Aの「書くこと」が他領域に比べ、全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の勉強は好きですか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率の推移については、数学の指導として家庭学習の課題を与え、その評価と指導を行った結果、生徒の数学ができるようになりたいという意欲が高まり、数学Aとともに、特に数学Bで全国との差が縮まってきたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか」という質問に対して、「週に1回以上」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っている。 	

【美唄市の学力向上策】

- ◎ 学力向上を重点的に取り組む事項として、「確かな学力育成プラン」を作成
- ◎ 学力向上に向けて、習熟度別学習、複式授業学習支援員の配置、ICTの活用などを推進
- ◎ 家庭学習の手引を作成し、下位層の底上げに活用
- ◎ 管理職を対象に、アクティブ・ラーニングの研修会を開催予定